本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

30件の電話番号・デュアルタイム
1/100秒ストップウオッチ・アラーム

# 1828＊JA

取扱説明書

**1828**

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。
時計のお取り扱いで、万一誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることはありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにもご納得のゆくまでお試しください。

# 安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

| | |
|---|---|
| ⚠危険 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。 |
| ⚠警告 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。 |
| ⚠注意 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）



⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）



●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

## ⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。
誤って使用すると、事故の原因となります。



### 電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

## ⚠注意

### かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。
①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等

●バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
●「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
●万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

### お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

### 分解しないでください

本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。



### データ控えを作ってください

記憶させた内容は備忘録に書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



### オートライト作動時のご使用について

登山やハイキングなどで、暗く足元の不安定な場所で、歩きながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。転倒やけがの原因となることがあります。

夜間、車両が通行する道路や路面の安全を確認できない走路などで、ランニングをしながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。交通事故、転倒の原因となることがあります。

夜間、自転車やバイクなどを運転しながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。転倒、交通事故の原因となることがあります。

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのでおやめください。交通事故の原因となることがあります。

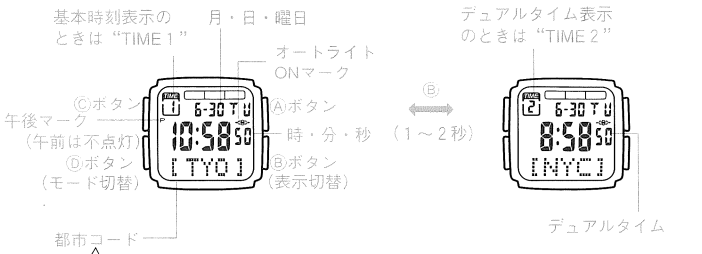
## 操作のしくみと表示の見方

Ⓓボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。

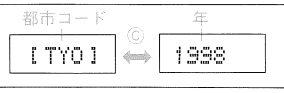
※表示は機種により異なる場合があります。

### 時刻モード

<基本時刻表示>　<デュアルタイム表示>



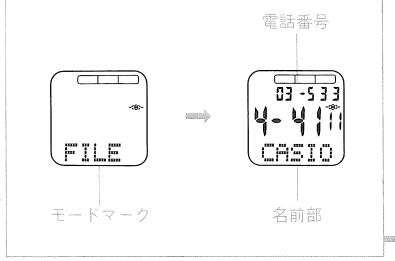

時刻モードでⒸボタンを押すごとに、「都市コード」と「年」が切り替わります。



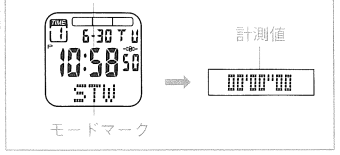

★表示切替
時刻モードでⒷボタンを1～2秒間押すごとに、基本時刻表示（TIME 1）とデュアルタイム表示（TIME 2）が切り替わります。

★曜日の見方
日：SU　月：MO　火：TU　水：WE　木：TH　金：FR　土：SA

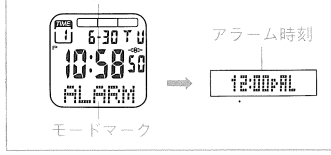
### ファイルモード




### ストップウオッチモード




### アラームモード




### ■デモ機能について

本機は工場出荷時に「デモ（デモンストレーション）機能*」に設定してあります。（デモ機能では通常のボタン操作はできません）
*「デモ機能」とは時計の機能の一部を自動的に表示するものです。

●デモ機能の解除…Ⓓボタンを1～2秒間押すと、デモ機能が解除されます。
●デモ機能にするには…解除時と同様にⒹボタンを1～2秒間押し続けます。

## 表示照明用ELバックライトについて

本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けるだけで文字板が発光するオートライト機能もあります。

### ●ボタンを押して発光させる ～手動発光～

Ⓐボタンを押します

→どのモードのときでも、文字板にあるELパネルが約2秒間発光します。
※オートライトON／OFFにかかわらず、Ⓐボタンを押すと発光します。




### ●時計を傾けて発光させる ～自動発光（オートライト）～

オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が発光する便利な機能です。暗い場所で時刻やストップウオッチの計測値などを見るときに大変便利です。

オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾けるだけで文字板が約2秒間発光します。

準備　どのモードのときでも、Ⓐボタンを約2秒間押すと、“◂”が点灯して「オートライトON」になります。

※もう一度Ⓐボタンを約2秒間押すと“◂”が消え、「オートライトOFF」になります。




### ●文字板を発光させる




※オートライト機能を使用するときは、時計が「手首の外側」にくるようにつけてください。
※このとき、文字板の左右（3時－9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



＜EL発光についての注意事項＞

●直射日光下では、発光が見えにくくなります。
●発光中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

＜オートライトご使用時の注意＞

●オートライトが作動するのは、“◂”を点灯させてから約3時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的に“◂”が消え、オートライトOFFになります。
※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度Ⓐボタンを約2秒間押して、“◂”を点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。
●時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
●文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は2秒間のみとなります。
●時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。**オートライトを使用しないときは必ずOFFにしておいてください。**
※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。
●静電気や磁気などでオートライトが作動しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると、発光しやすくなります。

## 製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
精度：平均月差±15秒以内
基本機能：時刻表示＝時・分・秒、午前／午後（P）／24時間制表示
（ワールドタイム）　カレンダー表示＝月・日・曜日
　40都市、サマータイム設定機能
ファイル機能：名前（8文字）と電話番号（12桁）を最大30件までメモリー
　自動ソート機能
アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝時・分　電子音＝20秒間
　時報　毎正時に2回電子音で報時
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒　計測範囲＝59分59秒99（60分計）
　計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測
その他：自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え、EL（エレクトロルミネッセンス）バックライト、オートEL、モニターアラーム
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップCMOS-LSI
使用電池：CR-1616（電池別途販売）
電池寿命：約2年
　（電子音20秒間／日、ライト4秒間（ボタン押し1回＋オートライト1回）／日使用した場合）
　●ただし、ライトの使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。
　・1日あたり、ライト8秒間（ボタン押し3回＋オートライト1回）使用のとき…約18ヶ月
　・1日あたり、ライト12秒間（ボタン押し5回＋オートライト1回）使用のとき…約15ヶ月

## ご使用上の注意

防水性
●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

| | BAR無し | 5BAR | 10BAR | 20BAR |
|---|---|---|---|---|
| 洗顔、雨 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 水仕事、水泳 | × | ○ | ○ | ○ |
| ウインドサーフィン | × | × | ○ | ○ |
| スキンダイビング（素潜り） | × | × | ○ | ○ |

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
●防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。
●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
●防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）
●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事、水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バンド
●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温度
●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。
●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック
●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因になります。

磁気
●磁気の影響はありません。

薬品類
●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管
●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

### ■お手入れについて

お手入れのしかた
●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れを怠ると
●「サビ」
・ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
・表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
●「劣化」
・樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。
●「かぶれ」
・皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。
・万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。
・特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

### ■データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

### ■蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光商品のケース／バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。
・長時間、直射日光に当てますと、色あせする場合があります。
・長時間、濡れたままにしておくと色がおちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
・長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくと、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
・プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

### ■電池交換について

最初の電池
●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※なお電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消耗
●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換
●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申しつけください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
●電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）

### ■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

### ■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

# デュアルタイムについて

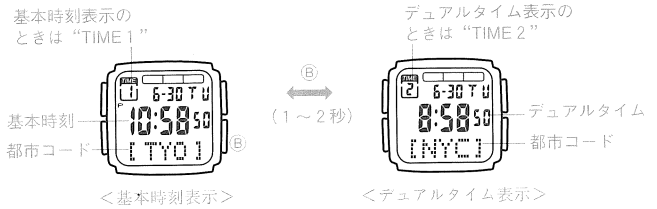
以下の操作は時刻モードで行ないます。

本機には基本時刻（TIME 1）とあらかじめ登録されている40都市の中から選べるデュアルタイム（TIME 2）の2つがあり、表示を切り替えて使うことができます。
※基本時刻も登録されている40都市の中から選ぶことができます。
※デュアルタイムの「秒」「年・月・日」は基本時刻の「秒」「年・月・日」に連動して表示されます。
※基本時刻を24時間制にしているときは、デュアルタイムも24時間制で表示されます。

## ■デュアルタイム表示にするには

時刻モード＜基本時刻表示＞のとき、Ⓑボタンを1～2秒間押します

→＜デュアルタイム表示＞となり、セットされている都市の時刻を表示します。
※もう一度Ⓑボタンを1～2秒間押すと＜基本時刻表示＞に戻ります。




## ■都市コードのセット

基本時刻またはデュアルタイムのうち、セットしたい方を表示させます。

(1) Ⓒボタンを1～2秒間押します
→「都市コード」が点滅します。

(2) ⒷまたはⒶボタンを押します
→ⒷまたはⒶボタンを押すごとに都市コードが切り替わります。（下記「●都市コード一覧」参照）

(3) Ⓒボタンを押して、点滅を止めます
※点滅表示のまま1～2分すると自動的に点滅が止まります。




## ■サマータイムのセット

基本時刻またはデュアルタイムのうち、セットしたい方を表示させます。
なお、サマータイムは基本時刻もしくはデュアルタイムのそれぞれにセットできます。

(1)Ⓒボタンを1～2秒間押して「都市コード」が点滅したら、Ⓓボタンを1回押します
→“DST”マークとONまたはOFFが点滅します。

(2) Ⓑボタンを押します
→Ⓑボタンを押すごとにON/OFFが切り替わります。
※DST ONにするとサマータイム設定*になります。
＊サマータイム設定時の表示は、通常の時刻より1時間早まります。“DST”はサマータイムを意味する「Daylight Saving Time」の略語です。

(3) Ⓒボタンを押して、点滅を止めます
※点滅表示のまま1～2分すると自動的に点滅が止まります。




●都市コード一覧

| コード | 時差 | 都市名 | コード | 時差 | 都市名 |
|---|---|---|---|---|---|
| ADL | +9.5 | アデレード | LON | +0.0 | ロンドン |
| ANC | -9.0 | アンカレジ | MEX | -6.0 | メキシコシティ |
| BER | +1.0 | ベルリン | MIA | -5.0 | マイアミ |
| BKK | +7.0 | バンコク | MIL | +1.0 | ミラノ |
| CAI | +2.0 | カイロ | MLE | +5.0 | マーレ |
| CCS | -4.0 | カラカス | NOU | +11.0 | ヌーメア |
| CHI | -6.0 | シカゴ | NYC | -5.0 | ニューヨーク |
| DAC | +6.0 | ダッカ | PAR | +1.0 | パリ |
| DEL | +5.5 | デリー | PPG | -11.0 | パゴパゴ |
| DEN | -7.0 | デンバー | RGN | +6.5 | ヤンゴン |
| DXB | +4.0 | ドバイ | RIO | -3.0 | リオデジャネイロ |
| GUM | +10.0 | グアム | ROM | +1.0 | ローマ |
| HKG | +8.0 | ホンコン（香港） | SEL | +9.0 | ソウル |
| HNL | -10.0 | ホノルル | SFO | -8.0 | サンフランシスコ |
| IST | +2.0 | イスタンブール | SIN | +8.0 | シンガポール |
| JED | +3.0 | ジッダ | SYD | +10.0 | シドニー |
| JRS | +2.0 | エルサレム | THR | +3.5 | テヘラン |
| KBL | +4.5 | カブール | TYO | +9.0 | 東京 |
| KHI | +5.0 | カラチ | WLG | +12.0 | ウェリントン |
| LAX | -8.0 | ロサンゼルス | YVR | -8.0 | バンクーバー |

※この表は1997年12月現在作成のものです。
※時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。

## ■時刻・カレンダーについて

基本時刻とデュアルタイムは、あらかじめ登録されている都市の時差にしたがい連動しています。
どちらかの時刻・カレンダーをセットすれば、都市コードを変更しても時刻・カレンダーを修正する必要はありません。

## ■時刻・カレンダーの合わせ方

(1)Ⓒボタンを1～2秒間押して「都市コード」が点滅したら、Ⓓボタンを2回押します。
→「秒」が点滅します。




(2) 時報に合わせて、Ⓑボタンを押します
→「00秒」からスタートします。
※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。（時報は「時報サービス電話117番」が便利です）




(3)以後、Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所が「秒→時→分→12/24時間制切替→年→月→日→…」の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。




(4) ⒷまたはⒶボタンを押します
→Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所の数字が1つずつ進み、Ⓐボタンを押すごとに1つずつ戻ります。
※Ⓑ・Ⓐボタンとも、押し続けると早送りできます。




(3)～(4)の操作を繰り返して、「時刻・カレンダー」を合わせます。

★12/24時間制表示切替のときは、Ⓑボタンを押すごとに12時間制表示（12H）と24時間制表示（24H）とが切り替わります。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）または24時間制にご注意ください。
※「年」は西暦で1995～2039年の範囲でセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。なおカレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(5) Ⓒボタンを押して、点滅を止めます
※点滅表示のまま1～2分すると自動的に点滅が止まります。

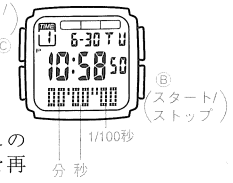
# ストップウオッチの使い方

時刻モードのときにⒹボタンを3回押すと、ストップウオッチモードになります。

ストップウオッチは59分59秒99（60分計）まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

## ■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、
Ⓑボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします




※計測中にⒷボタンを押すと、計測が止まります。このときもう一度Ⓑボタンを押すとその時点から計測を再開します。（積算計測）
※計測中にⒸボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。（SPLIT点灯）もう一度Ⓒボタンを押すとスプリットが解除されます。
※計測終了後Ⓒボタンを押すと計測値が0に戻ります。

●通常計測

Ⓑ スタート → Ⓑ ストップ → Ⓒ リセット

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓑ スタート → Ⓒ スプリット → Ⓒ スプリット解除 → Ⓑ ストップ → Ⓒ リセット
（スプリットタイム表示）

●1・2着同時計測

Ⓑ スタート → Ⓒ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓑ 2着ゴール → Ⓒ 2着タイム表示 → Ⓒ リセット

# ファイル機能の使い方

時刻モードのときにⒹボタンを１回押すと、ファイルモードになります。

ファイル機能は名前８文字と電話番号12桁を最大30件まで記憶できます。ファイルモードに切り替えると、前回ファイルモードで最後に見たデータを表示します。また、データを入力すると、名前順に並び替え（自動ソート*）が行なわれますので、データを探すときもたいへん便利です。

* 自動ソート…記憶されたデータは名前の先頭から比較し、自動的に整理されます。比較順序は（スペース）、アルファベット（A～Z）、数字（０～９）、記号（－,.,／,：）です。

## ■データの呼び出し

ファイルモードのとき、Ⓑボタンを押します

→Ⓑボタンを押すごとに名前順に進みます。

※押し続けると早く進みます。



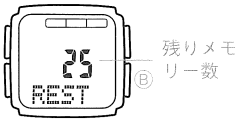

## ■データを入力（修正）する

(1) ファイルモードのとき、

Ⓑボタンを押して、残りメモリー数（修正ページ）を表示させます

※残りメモリー数表示のときは“REST”と表示されます。

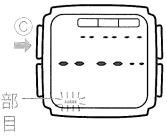
※30件すべて入力してあるときは“FULL”と表示されます。このときは不要なデータを消去しておいてください。（「■データを消去する」参照）




＜残りメモリー数表示＞

(2) Ⓒボタンを１～２秒間押します

→名前部１桁目が点滅します。

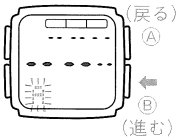



(3) 点滅箇所のセット

ⒷまたはⒶボタンを押します

→Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所の文字が１つずつ進み、Ⓐボタンを押すごとに１つずつ戻ります。

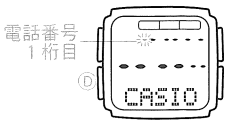
※Ⓑ、Ⓐボタンとも、押し続けると早送りします。




(4) 点滅箇所を選ぶ

Ⓓボタンを押します

→Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所が「名前部１桁目～８桁目→電話番号部１桁目～12桁目→名前部１桁目…」の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、Ⓓボタンでセットしたい箇所を選びます。




（3）～（4）の操作を繰り返して、データを入力（修正）します。

★名前部は最大８文字、電話番号部は最大12桁まで入力できます。

★入力できる文字は名前部セットのときは（スペース）、アルファベット（A～Z）、数字（０～９）、記号（－,.,／,：）で、電話番号部セットのときは－、数字（0～９）、（スペース）です。

(5) セットが終わりましたら、Ⓒボタンを押します

→点滅が止まり、入力したデータを表示します。

※名前を６文字以上入力したときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。

※続けてデータを入力したいときは、(1)～(5) の操作を繰り返し行ないます。

※入力したデータは名前順に並び替えられます。

※ファイルモードのまま２～３分すると自動的に時刻モードに戻ります。

## ■データを消去する

(1) Ⓑボタンを押して消去したいデータを選びます。

(2) Ⓒボタンを１～２秒間押します。

※名前部１桁目が点滅します。

(3) Ⓐ・Ⓑボタンを同時に押します。

※確認音が鳴り、データが消去されます。このとき引き続き他のデータを入力することができます。

(4) 消去が終わりましたら、Ⓒボタンを押します。

# アラームの使い方

時刻モードのときにⒹボタンを2回押すと、アラームモードになります。

アラームは時・分を設定できます。セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

## ■アラーム・時報を鳴らすには

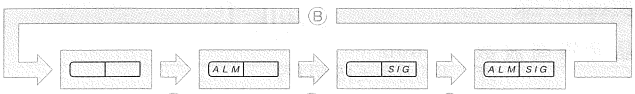
アラームモードのときに、

Ⓑボタンを押します

→Ⓑボタンを押すごとに以下の順でアラームON／OFFおよび時報ON／OFFが切り替わります。

※なお、アラーム時刻をセットすると“ALM”が点灯し、自動的にアラームONとなります。（「■アラーム時刻のセット」参照）




| | | | |
|---|---|---|---|
| アラーム時報 | 鳴らない 鳴らない | 鳴る 鳴らない | 鳴らない 鳴る | 鳴る 鳴る |

## ■アラーム・時報の報知方法

アラーム・時報は時刻モードで表示させている時刻に合わせて鳴ります。

●アラームONのとき

セットしたアラーム時刻になると、20秒間電子音が鳴ります。

●時報ONのとき

毎正時（00分）になると、“ピッピッ”と電子音が鳴ります。



## ■鳴っている電子音を止めるには

アラーム（時報）音を止めるには、ⒶⒷⒸⒹボタンのうち、いずれか1つを押します。

## ■モニターアラーム

アラームモードのときにⒷボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

## ■アラーム時刻のセット

(1)アラームモードのときに、

Ⓒボタンを１～２秒間押します

→アラーム時刻の「時」が点滅します。

※このとき“ALM”が点灯し、アラームONとなります。




(2)セット箇所を選ぶ

Ⓓボタンを押します

→Ⓓボタンを押すごとに「時」「分」が交互に点滅します。




(3)点滅箇所のセット

ⒷまたはⒶボタンを押します

→Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所の数字が１つずつ進み、Ⓐボタンを押すごとに１つずつ戻ります。




※Ⓑ・Ⓐボタンとも、押し続けると早送りします。

※「時」のセットのとき、午前／午後（P）または24時間制にご注意ください。

※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。

(4)セット後、点滅を止めるには、

Ⓒボタンを押します

※点滅表示のまま1～2分すると自動的に点滅が止まります。